

6 . 中核機関活動の報告

中核機関である（財）福岡県産業・科学技術振興財団は、福岡県により設立された財団であるため県からの支援を受けつつ、県との十分な連携のもとに中核機関としての任務を遂行した。

本事業においては、中核機関として、各種契約に係る業務、科学技術振興事業団との連絡調整、事業総括・研究統括業務の補佐、成果発表会等の開催、及び総務・経理業務はもとより、ネットワーク型研究体制における円滑な研究推進を図るため、特に研究者・研究機関間の密な連絡・調整業務に注力した。また、コア研究室の整備・拡充に積極的に努めてきた。

このように本事業の中核機関としての任務を果たすことにより、本県の科学技術振興及び新技術・新製品開発を推進していく最前線機関として、大規模研究プロジェクトを管理・運営・推進していくための知識・ノウハウの取得、また当財団を中心とした研究者ネットワークの構築を図ることができた。

これらを財産とし、今後十分に活用していくため、フェーズ において当財団で引き続きコア研究室の確保・運営を行うとともに、ネットワーク会議や研究会、また県予算等による研究プロジェクトの中核機関としての役割を果たすこととしている。